

水郷潮来

TRIATHLON



2022

5.22 SUN  茨城県潮来市
ポートセンターあめんぼ特設会場
競技時間 8:20-13:00

公式ホームページ <https://www.mspo.jp/itako/>



AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

トライアスロン・マラソン・
ファンランのエントリーなら

LAWSON Do! SPORTS

マラソン

トライアスロン

自転車

ファンラン

等の幅広いラインナップ!



全国で開催される参加型スポーツのイベント情報をゲット!!



お目当ての大会に簡単エントリー!!



様々なジャンルの大会に参加できる!!

<https://do.l-tike.com/>

※対象：PC/スマホ/タブレット ※ローソンWEB会員(無料)登録必須

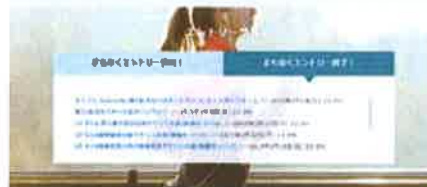
大会実績

- 青梅マラソン / オフィシャルエントリーサイト
- かすみがうらマラソン / オフィシャルエントリーサイト
- 横浜マラソン / オフィシャルエントリーサイト
- おかやまマラソン / オフィシャルエントリーサイト
- 日本トライアスロン連合 / 公式エントリーサイト

など



LAWSON DO! SPORTS PICK UP



人気イベントも探す

>>>大会の詳細・参加申込はこちら

ローソン DO

検索





ごあいさつ

大会名誉顧問
茨城県知事

大井川 和彦

このたび、水郷潮来トライアスロン 2022 大会が、関係者の皆様のご尽力により、万全な新型コロナウイルス感染症防止対策のもと開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国各地から本県にお越しいただきました選手並びに関係者の皆様に心より歓迎いたします。

さて、人生百年時代の到来が予測される中、心身共に健康で豊かな人生を送るためには、生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる環境が求められております。

このため本県におきましては、個々の関心や適性に応じてスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりを積極的に進め、多様なスポーツ活動を通じて、一人ひとりの健康増進や活力ある地域社会の醸成を推進しているところです。

こうした中、本大会が水郷潮来の地で開催されますことは、トライアスロン競技の普及・振興はもとより、本県スポーツの振興を図る上で、大変意義深いものと感じております。

選手の皆様におかれましては、コロナ禍の困難な状況の中で、積み重ねてきたトレーニングの成果を発揮されますとともに、選手間の交流を深められ、記憶に残る素晴らしい大会となりますことを期待しております。

結びに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を心からお祈りいたしまして、あいさついたします。



ごあいさつ

大会会長
潮来市長

原 浩道

全国各地からご出場いただきました選手の皆さま、ようこそ水郷潮来へお越しくださいました。水郷潮来トライアスロン2022大会会長、潮来市長の原 浩道でございます。潮来市民を代表し、心より歓迎を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが未だ見えない状況ではありますが、安全に開催するため、前大会同様『抗原検査の実施』等、感染症対策を講じて、出場選手の皆さまと大会運営スタッフの安全を第一に考え開催することといたしました。何かとご不便をおかけいたしますが、特段のご理解をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

選手の皆さまにおかれましては、感染防止対策を実施しながら、日々、厳しいトレーニングに励んでこられたと思います。今日まで限界の域まで積み重ねてこられた努力の成果を、この大会で十二分に発揮され笑顔のゴールとなりますことをご祈念いたします。そして水郷潮来の景色やおもてなしを満喫していただきながら、記憶に残る大会となりますことをご期待しております。

結びに、今大会を開催するにあたり、多大なるご尽力をいただきました多くの関係者の皆さまに心からの敬意と感謝を申し上げ、ごあいさついたします。



ごあいさつ

大会名誉会長
茨城県トライアスロン協会会長
茨城県議会議長

伊沢 勝徳

「水郷潮来トライアスロン2022」が多くの選手・役員の皆様をお迎えし、盛大に開催出来ましたこと、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、今年の大会開催につきましては、昨年同様コロナ禍の影響により最後まで予断を許さない状況でありました。このような中、実行委員会が最後まで希望を持ち、選手・役員・ボランティア・関係スタッフ並びに潮来市民の安心と安全を確保しつつ、経済活動を如何に進めるか、また、選手に於かれては、日頃の鍛錬の成果を発揮出来る場を失い、モチベーションを如何に維持していけるかを大切なポイントと捉え、実行委員会内にコロナ対策委員会を設置し、「公益財団法人日本トライアスロン連合」をはじめ各関係機関のご指導を仰ぎ、昨年に引き続き開催に漕ぎ着けましたことは、これからの大会運営に大きな力となることでしょう。

選手の皆様には、これまでに行われてきた、トライアスロン大会とは大きく様相が変わりますが、日頃の練習の成果を存分に発揮され、思い出に残る素晴らしい大会となることをご祈念申し上げます。

結びに本日を迎えるに当たり、ご尽力を頂きました潮来市・協賛企業・大会を支えるボランティア・県トライアスロン協会関係者の皆様に敬意と感謝を申し上げますと共に、本大会の成功と選手の皆様のご健闘をお祈りいたしまして、主催者としてのご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

大会副会長
国土交通省関東地方整備局
霞ヶ浦河川事務所長

小櫃 基住

「水郷潮来トライアスロン2022」が、ここ水郷のまち潮来において、そして私どもが管理している霞ヶ浦を会場として、全国各地から多数の参加者を迎えて盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

霞ヶ浦は、西浦、北浦とこれらをつなぐ常陸利根川、北利根川、外浪逆浦、鰐川および横利根川の総称で、わが国第2位の湖面積を誇ります。この霞ヶ浦の水は、沿岸の約80万人の水道用水や、地域の生活や産業を支える農業用水、工業用水として利用され、霞ヶ浦がもつ広大な水と緑のスペースは、多様な動植物等の生息・繁殖の場や漁業生産の場はもとより、首都圏にお住まいの方々を含め、広域的なスポーツやレクリエーション活動の場として利用されており、多様な役割を担っております。

私ども国土交通省では、霞ヶ浦がもつ治水、利水、環境の各機能を守り、改善するための事業を実施しております。併せて、周辺流域の都市化や産業発展に伴って悪化した水質を改善することも大きな課題となっており、関係機関や住民の方々とも連携を図り、きれいな霞ヶ浦を取り戻すための取り組みを実施しているところです。今後とも多くの方々にも安らぎと豊かさを実感して頂けるよう、霞ヶ浦の整備や維持管理に努めてまいります。

最後に、新型コロナウイルス感染症が依然として収束しないなか、この大会を支えてこられた関係者皆様の熱意と努力に敬意を表するとともに、本大会の成功と選手の皆様方のご健闘を祈念いたしまして、ご挨拶いたします。



ごあいさつ

大会副会長
独立行政法人水資源機構
利根川下流総合管理所長

小島 幸康

「水郷潮来トライアスロン2022」に全国各地より参加される選手の皆様に対し、一言歓迎の挨拶をさせていただきます。

このたびは、日本第2位の広さを誇る霞ヶ浦のほりにある水郷潮来によくおおいでくださいました。心より歓迎いたします。

本大会に向け、自らの目標を定めて日々練習に励んでこられた選手の皆様には、その成果を発揮すべく、ここ水郷潮来の地において、精一杯競技に取り組んでいただきたいと思います。

さて、本大会の会場である潮来市及び霞ヶ浦は、古くから豊かな水の恵みを受けてきた地域であり、霞ヶ浦の豊かな水は、水道用水、工業用水、農業用水の貴重な水源として利用されています。また、湖周辺地域は、漁業、観光、フィッシング、サイクリング、散策の場などとしても多くの方々に利用されています。

特にサイクリングについては、霞ヶ浦の湖岸堤が、つくば霞ヶ浦りんりんロードとしてナショナルサイクルルートに指定され、青い空ときらめく湖面を眺めながらのサイクリングができるルートとして、注目されています。

この霞ヶ浦の管理の一端を担う私ども水資源機構としては、霞ヶ浦周辺地域の洪水の防御や適切な水利用に資するために適正な施設管理を行いつつ、自然豊かで、きれいな霞ヶ浦になるよう日々、様々な取り組みを行っています。

本大会に参加される選手の皆様におかれましては、大会を通じ、ぜひ、水郷潮来や霞ヶ浦周辺のすばらしさを肌で感じていただければ幸いです。

コロナ禍の影響により、厳しい状況が続いておりますが、本大会の開催にあたり、大会関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、選手皆様の健闘を祈念して挨拶いたします。



ごあいさつ

水郷潮来トライアスロン
実行委員会委員長

田村 嘉規

選手の皆様、ようこそ水郷潮来トライアスロン2022にご参加くださいました。

そして、潮来市をはじめ関係諸団体のご理解とご協力を賜り、今年も開催に至りましたことに深く感謝申し上げます。

足元では未だ新型コロナウイルスが影を落とし、ウクライナ・ロシア情勢が様々な影響を及ぼす先行きの不透明な状況下ではありますが、皆様のモチベーションとなっているであろう、トライアスロンを続けることで得られる「健康、活力、仲間、刺激」といった「宝」は次の時代を乗り越える原動力になっていくと確信しています。

そんな皆様と共に楽しみ、地域に活気をもたらす大会を目指して今年さらなる進化を遂げるべく、近隣住民の方のご理解を承ってバイクコースを一新。新緑の田園風景を駆け抜け、雄大な常陸利根川の景色を楽しめるコース設定としました。

選手と地域の皆様から永く愛される大会となれるよう大会運営を創意工夫して参ります。

今年も選手の皆様の輝く笑顔がこの潮来の地で見られることを楽しみにしております。

結びに本大会の開催にあたって、ご協賛頂きました企業様、ご協力ご支援を賜りました各団体様、ボランティアの皆様へ実行委員会を代表いたしまして心より御礼申し上げます。

祝 水郷潮来トライアスロン2022



独立行政法人水資源機構 利根川下流総合管理所



〒300-0732
茨城県稲敷市上之島 3112
電話(0299)79-3311
<http://www.water.go.jp>

水郷潮来トライアスロン 2022

【大会概要】

- ◆大会名称 水郷潮来トライアスロン2022
(2022JTUトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ)
併催/令和4年度 県民総合体育大会
- ◆主催 水郷潮来トライアスロン実行委員会
- ◆共催 茨城県、茨城県教育委員会、公益財団法人茨城県スポーツ協会
- ◆公認 公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)
- ◆主管 茨城県トライアスロン協会(ITA) ※協会ホームページ <http://ibaraki-triathlon.jp/>
- ◆協力 公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU) 関東ブロック協議会
- ◆後援 国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所、
独立行政法人水資源機構利根川下流総合管理所、
潮来市、潮来市教育委員会、潮来市商工会、水郷潮来観光協会、潮来市旅館組合、
読売新聞、茨城新聞、茨城放送
- ◆特別協賛 株式会社セキネネオングループ、道の駅いたこ、株式会社西京味噌
- ◆協賛 東日本電信電話株式会社、株式会社ローソン、味の素株式会社、スポーツクラブNAS株式会社、TYR株式会社潮来工機、茨城電話工業株式会社、大泉産業株式会社、株式会社大鶴、
有限会社大原工業、城之内医院、医療法人仲沢会仲沢医院、松岡クリニック、
間中建設企画株式会社、山田空調設備株式会社、株式会社伊藤商事、
マルベリーくだもの本舗
- ◆協力団体 行方警察署、潮来消防署、潮来市区長会、JR 潮来駅、関東鉄道株式会社、
茨城県ボート協会、霞ヶ浦北浦水上交通安全協会、水郷ボートサービス株式会社、
大竹サーフライセービングクラブ、株式会社ジェイエスケイ警備事業本部、潮来市タクシー組合、
日本製鉄トライアスロン競技部、土浦トライアスロンクラブ、常総トライアスロンクラブ、
霞ヶ浦トライアスロンクラブ、流通経済大学トライアスロン競技部、筑波大トライアスロン部、
茨城大トライアスロンクラブ
- ◆種目/距離 スタンダード、リレー：51.5km
 - スイム：1.5km(1.5kmのコースを1周)
 - バイク：40km(10kmのコースを4周)
 - ラン：10km(2.5kmのコースを4周)
- ◆表彰対象 スタンダード
 - 男子総合：1位～6位、女子総合：1位～3位
 - 年代別(5歳刻み=24歳以下、25-29歳…70歳以上)：男女各1～3位
 - ※2022年12月31日時点での年齢
 - ※但し、総合入賞者は年代別表彰の対象外となります。
 - ジュニア(19歳以下)：男女各1位リレー
 - 総合：1位～3位

【スケジュール】

前日：2022年5月21日（土）

- 13:00～16:30 選手受付（潮来市ボートセンターあめんぼ特設会場）
※QR Check-in、ワクチン接種証明もしくは、PCR・抗原検査陰性証明必須
- 14:00～15:00 試泳
- 15:00～16:00 トライアスロン講座（講師：松丸 浩巳）

当日：2022年5月22日（日）

- 6:30～8:30 選手受付（潮来市ボートセンターあめんぼ特設会場）
※来場後、検温& QR Check-in を行います
※ワクチン接種証明もしくは、PCR・抗原検査陰性証明必須
※前日受付された方も、検温のみ行います
- 6:35～8:35 バイクセットアップ（8:35でトランジションは閉鎖となります）
- 8:00～ 試泳スタート（グループ毎、試泳場所・導線などはスイムエリア図参照）
・第1グループ=8:00～8:10（10分間）
・第2グループ=8:05～8:15（10分間）
・第3グループ=8:10～8:20（10分間）
・第4グループ=8:15～8:25（10分間）
- 8:15 開会宣言
- 8:20～ 競技スタート（10秒間隔で2人ずつのローリングスタート）
・第1グループ（スイムキャップ：ホワイト） 8:20～8:25
・第2グループ（スイムキャップ：オレンジ） 8:25～8:30
・第3グループ（スイムキャップ：レッド） 8:30～8:35
・第4グループ（スイムキャップ：ブルー） 8:35～8:40
- ～9:40 スイム種目終了時間（9:40以降バイクスタートはできません。）
- ～11:30 バイク種目終了時間（11:30以降ランスタートはできません。）
※11:10以降、バイクでの新しい周回へは進めません。
- ～12:40 全競技終了
※12:25以降、ランでの新しい周回へは進めません。
- 13:00～13:30 表彰（表彰対象者はWEBにて順次発表いたします。）
※会場に表彰対象者確認用のQRコードを掲示いたします。

【注意事項】

- 8:35にトランジションを閉鎖いたします、それまでにバイクのセットアップを完了してください。
1-2グループ全ての選手がランスタートした事が確認できましたら、1-2グループのトランジションエリアを解放いたします。（目安11:30頃、開放時間は前後する事があります、場内アナウンスをご確認ください）
※トランジションエリア内は選手以外立入禁止となっております。
※全ての選手がランスタートして事が確認でき次第、全てのトランジションを開放いたします。
- タイム計測用のアンクルバンドはウォームアップ前に配布いたします。（アンクルバンド配布テント）
アンクルバンドを受け取った後は、スイムエリアから出ることができなくなります。
アンクルバンドを装着していないと記録計測ができません。ゴールするまで外さないようお願いいたします。
ゴール後、自分でアンクルバンドを外し、回収箱に入れてください。リタイヤされた場合は、お近くのTOにお渡しください。

【大会役員】

- ◆大会名誉顧問 大井川 和彦（茨城県知事）
- ◆大会名誉会長 伊沢 勝徳（茨城県トライアスロン協会会長）（茨城県議会議員）
- ◆大会会長 原 浩道（潮来市長）
- ◆大会副会長 小櫃 基住（国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所長）
小島 幸康（独立行政法人水資源機構利根川下流総合管理所長）
加藤 明良（茨城県トライアスロン協会副会長）（茨城県議会議員）
関根 英輔（茨城県トライアスロン協会副会長）
鈴木 但義（茨城県トライアスロン協会理事長）
- ◆大会顧問 額賀 福志郎（衆議院議員）
岡田 広（参議院議員）
鈴木 義弘（茨城県議会議員）
- ◆大会参与 庄司 敦子（潮来市副市長） 横田 直樹（潮来市教育長）
箕輪 昇（潮来市議会議員） 小峰 進（潮来市議会副議長）
針替 和夫（行方警察署長） 緒方 剛（茨城県潮来保健所長）
芳根 誠（行方警察署交通課長） 海東 剛正（潮来消防署長）
塚本 誠一（潮来市商工会長） 高塚 悌治（水郷潮来観光協会会長）
小林 俊夫（潮来市スポーツ協会会長） 村上 定運（水雲山潮音寺住職）
(潮来市議会議員)
佐々木 徹 志村 一 石田 裕二 阿部 慶介 兼平 直紀
笠間 丈夫 飯田 幸弘 平田 健三 飯島 康弘 田崎 清
藤崎 忠徳 薄井 征記 今泉 利拓
- 額賀 浩（潮来市市長公室長兼総務部長）
茂木 衛（潮来市市民福祉部長） 榊原 徹（潮来市環境経済部長）
若槻 和昭（潮来市環境経済部参事併任農業委員会事務局長）
常井 俊宏（潮来市建設部長） 吉川 秀樹（建設技監兼都市建設課長）
打越 伸是（潮来市議会事務局長） 塙 誠一（潮来市教育委員会教育部長）

【大会実行委員会（兼コロナ対策委員会）】

- ◆実行委員長 田村 嘉規 ※兼コロナ対策委員長
- ◆副実行委員長 中島 武次（茨城県トライアスロン協会副理事長） ※兼コロナ対策副委員長
三宅 清巳（茨城県トライアスロン協会理事） ※兼コロナ対策副委員長
- ◆実行委員 町田 春吉（茨城県トライアスロン協会顧問） ※兼コロナ対策委員
鈴木 但義（茨城県トライアスロン協会理事長） ※兼コロナ対策委員
寺崎 敏彦（茨城県トライアスロン協会副理事長） ※兼コロナ対策委員
大平 幹雄（茨城県トライアスロン協会監事） ※兼コロナ対策委員
渡邊 保彦（茨城県トライアスロン協会理事）（龍ヶ崎済生会病院医師） ※コロナ対策委員
北岡 聡（茨城県トライアスロン協会理事） ※兼コロナ対策委員
吉川 増夫（潮来市生涯学習課課長）
草野 敏夫（潮来市生涯学習課）

【県民総合体育大会 大会役員】

◆会 長 大井川 和彦

◆副 会 長 小泉 元伸
関 正樹

◆顧 問	関口 毅	原 浩道	安藤真理子	川口 浩
	櫻井 洋二	大和田 健	黒澤 弘忠	下路 健次郎
	中島 成雄	秋山 隆	綿引 憲男	岡田 裕昭
	田山 東湖	福田 太公	会田 真一	下妻 利之
	川田 進	葉梨 衛	須田 義之	白田 信夫
	加藤 明良	萩原 榮	大久保 進司	加藤 寛治
	久保田 清	遮那 誠一	小倉 培夫	幡谷 定俊
	西内 博	中川 喜久治	西條 昌良	新谷 和也
	大川 幹雄	岡田 広	井上 忍	堀口 卓司郎
	藤原 孝幸	皆川 智昭	伊沢 勝徳	

◆委 員 長 根本 聡

◆副 委 員 長 清水 秀一
大竹 良彦
益子 雄行
川原井 勝雄

◆委 員	土井 一男	根本 政世士	高橋 勤司	岩間 信雄
	鈴木 一美	鈴木 純一	坂田 寛	中川 繁昭
	藤咲 厚郎	諏訪 正美	松枝 弘幸	中村 宏
	海老澤 正道	川島 正敏	古矢 勲	折本 裕樹
	額賀 富雄	小林 博史	宮下 護	廣澤 努
	野澤 一実	中村 和幸	清水 定明	高橋 義道
	木内 広史	高松 清	鴨志田 勝次	齋藤 克朗
	柴田 淳	中沢 隆一	飯島 寿一	高橋 昇
	地頭 薫	荻野谷 豊光	横山 良子	久野 篤
	吉澤 忠	河西 徹	久保 正幸	鹿窪 茂
	鈴木 但義	福永 広明	砂田 和広	菊池 和洋
	野田 浩太郎	野友 宏則	葉梨 義幸	相田 良裕
	稻見 誠	水貝 保	宮川健太郎	江連 昌治
	中口 直仁	柳田 剛志	沼尻 雅博	佐々木理央
	大島 遼太郎	塙 秀斗	石川 円	坂本 和久

(順不同敬称略)

【競技役員】

◆競技委員長	伊沢 勝徳			
◆競技副委員長	加藤 明良	関根 英輔	町田 春吉	
◆総務委員長	鈴木 但義			
◆技術代表	北岡 聡			
◆審判長	神谷 嵩史			
◆副審判長	ス イ ム: 中野 稔	バ イ ク: 寺崎 敏彦		
	ラ ン: 小村 幸一	トランジション: 染谷 雅則		
	エ イ ド: 中島 武次			
◆チーフテクニカルオフィシャル	鈴木 但義			
◆テクニカルオフィシャル	関根 勇	高野 道夫	小堀 章	古川 日出夫
	伴 伸夫	伊藤 道郎	西廣 晴光	三宅 清巳
	小方 千昭	寺本 かおる	永沢 ひとみ	垣内 基
	豊澤 英子	久保田 信行	猿田 克巳	小村 幸一
	田所 洋貴	増山 栄	中嶋 一仁	田中 和彦
	土井 浩美	吉村 雅代	奥原 秀樹	古谷 勝義
	石川 泰宏	矢田部 正規		
◆競技補助員	篠塚 英樹	佐々木 信幸	シーモア 千鶴	高栖 久美子
	高栖 菜々美	堀井 里子	伊藤 純也	高根 理毅
	安藤 一代	平山 正誉	戸村 岳	阪本 修
	水谷 君江	柳多 美智子	大原 良雄	山口 孝治
	山崎 恵美子	星 征史	今井 輝生	宇野 則子
	作山 京兵	小林 成美	大塚 善啓	高木 昇
	江波戸 智子	栗田 茂	長岡 晃	中岡 秀二
	布施 太郎	高須 勉	上西 正夫	石井 路男
	吉村 琉希	江波戸 寧音	水谷 喜美	山口 香奈
	山口 優奈	高塚 誠	塚本 美穂子	久野 信次
	赤根己 知生	深谷 聖	木村 樹	内野 永遠
	高安 哲二	松瀬 綾子	佐々木 佳世	加瀬 恵美
	高橋 利男	石垣 美幸	秋谷 里美	加瀬 凌斗
	末光 純子	高崎 春男	郡司 真吾	石津 千春
	山口 充	松井 泰信	稲野 邊雅子	塚田 拓
	森 秀明	根本 睦雄	佐々木 雄平	
傾聴の会	井上 志津江	吉田 功子	荒野 美代	永峰 澄江
	飯田 雅子	堀井 みつ江	荒張 誠子	石津 俊恵
	中村 康子	大友 艶子	笠井 けい子	菅谷 静江
茨城県ボート協会	中村 栄三	今野 尚武	嶋田 稔男	清水 勝
	樽井 清	遠藤 上	小高 浩孝	原 健一朗
	三村 栄作	峰松 剛志		

水郷潮来トライアスロン2022

2022JTUTトライアスロンエイジグループ・くまやラマン
ナショナルチャンピオンシップシリーズ対象大会



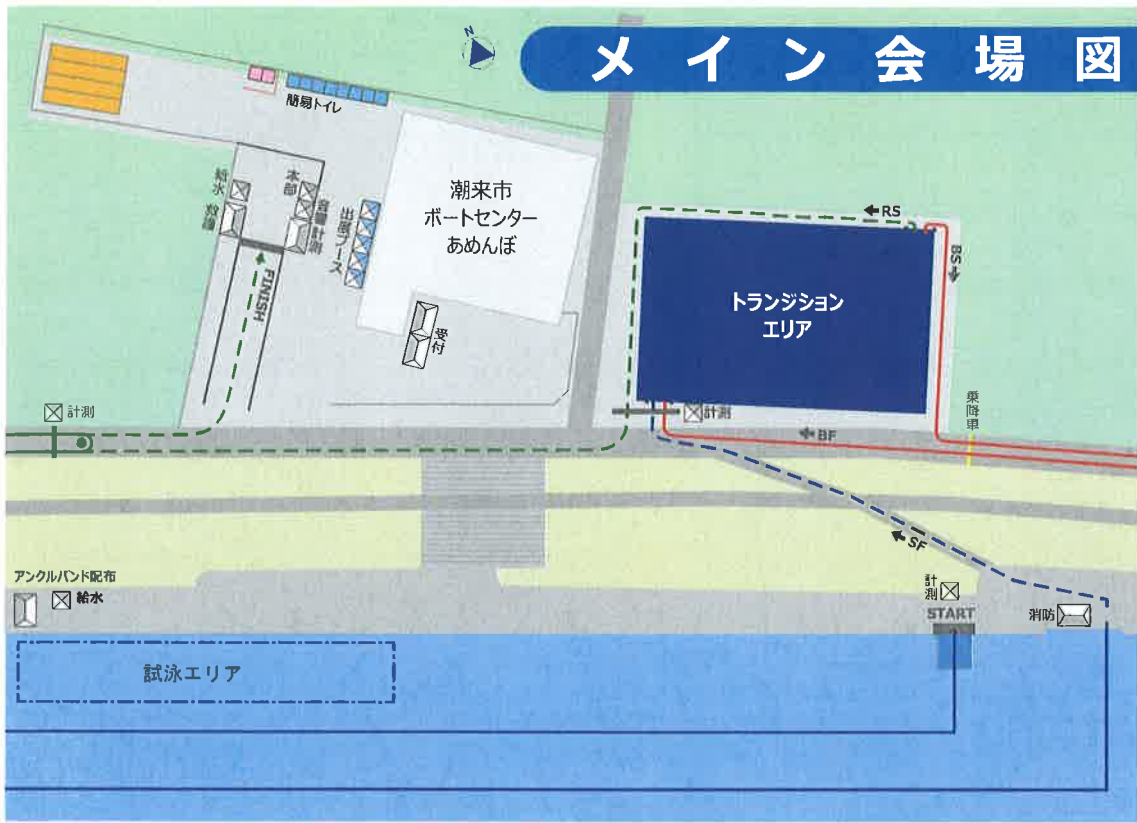
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP
SERIES

コース全体図

(コース設定の都合上一部変更の場合もある)



メイン会場図



スイムエリア図

